

“原子力教育を考える会”制作

# 放射線のホントのこと 学習用 DVD

監修：崎山比早子

医学博士・元国会事故調査委員

上下2巻 各20～25分（予定）  
学習用ワークシート付き

2011.3.11.の東京電力・福島第一原子力発電所の事故により、  
広い範囲に放射性物質がまき散らされました。

わたしたち「原子力教育を考える会」は、2003年から活動を初め  
WEB上に「よくわかる原子力」HPを公開してきました。

原子力や放射能について、文科省や電力会社が伝えているのとは  
ひと味違った情報をお伝えしております。

日本各地にまき散らされた放射性物質による被ばくが続いています。  
このDVDは、こどもたちが自分の健康を自分で守ることが  
出来るように、という願いから制作しました。

放射線についての正確な知識を身につけ、  
余計な被ばくを避けること、そのために必要なことを  
中学生・高校生にむけてやさしく解説しました。

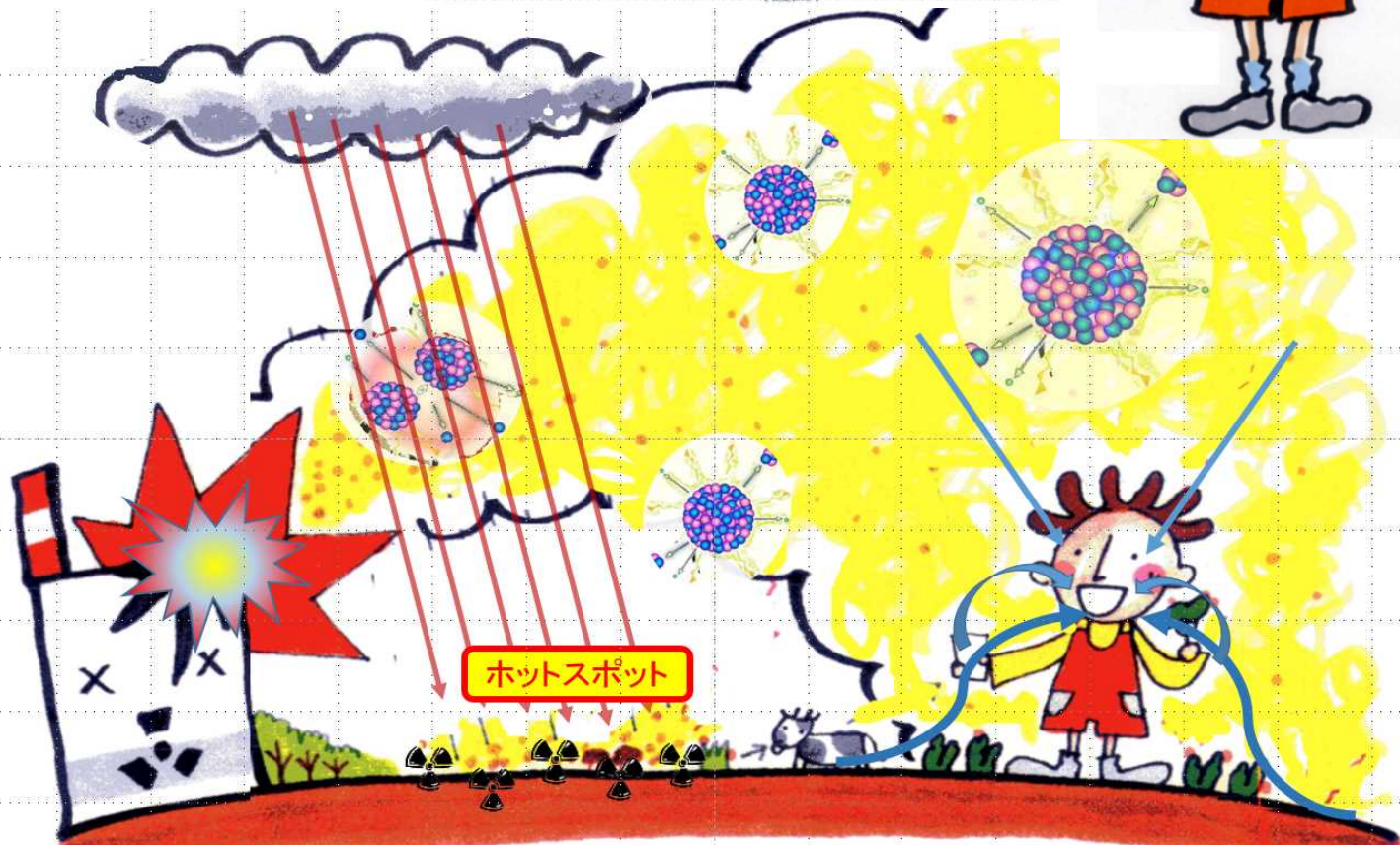
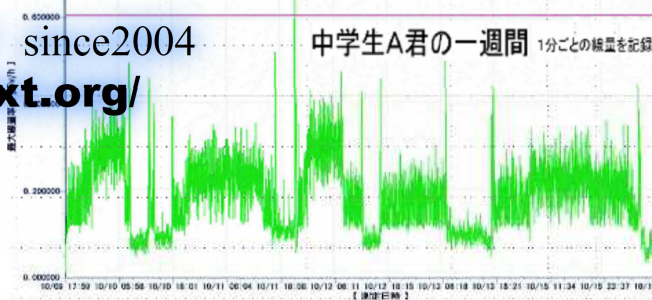


当会の出版物  
PHP研究所より

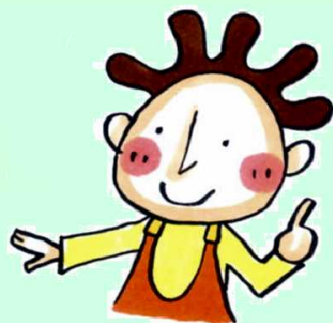
HP：よくわかる原子力 since2004

<http://www.nuketext.org/>

HPをご覧ください



このDVDは、学習用にアニメーションを使って、できるだけわかりやすくつくりました。でも放射線を理解するのはむずかしいかも知れません。このDVDをきっかけに、わからなかったら、学校の先生や、わたしたち（DVD制作者）に質問して、学習しましょう。



2011年3月11日、東京電力福島第一原子力発電所事故で日本の各地に放射性物質がまき散らされ、その影響は現在も続いています。どのように放射性物質がひろがっていったのか、放射線はどんなときに発生するのか、どのようなものなのか、人間など生物にどんな影響を与えるのか、くらしの中でどんなところに気がつけたらよいのか。etc……  
……放射線についてのさまざまな知識をやさしく解説しています。

中学生や高校生の皆さんが、放射線についての正確な知識を身につけ、余計な被ばくを避けることで、自分の健康を自分で守る、そんなことが出来るようにという思いをこめて、このDVDをつくりました。

もちろん、大人の方もごらんください。

原子力教育を考える会

## ■おもな内容

セシウム137 拡散動画 / 福島原発で何が起こったか / メルトダウン：アニメで解説  
放射能プルームの拡散とホットスポット / 原子の大きさ / 放射線を見る 高濃度汚染地帯での霧箱映像  
放射線ってどんなもの / 光と放射線の違い / 放射線の種類と透過力 / 放射線が出るとき  
核分裂・連鎖反応 / 原子爆弾と原子炉 / 放射性物質の壊変 / 半減期とは？ / 外部被ばくと内部被ばく  
ヨウ素剤と甲状腺 / 放射線の単位 ベクレルとシーベルト / 放射線の生物影響・DNA / 染色体と放射線  
自然放射線による被ばく / ALARAの法則 / 予防原則 / 食品の基準値 / 放射線作業者の線量基準  
医療被ばく / 日常生活の中の被ばく（どんなところに気がつけたらいいか） / 中学生一週間の被ばく記録  
ホットスポットファインダーでわかること / 道路の汚染

次のホームページに、DVDの概要、授業などで使えるワークシート、音声台本など掲載しております。  
ダウンロードしてご利用下さい。

<http://www.nuketext.org/> "よくわかる原子力"



現在 わたしたち原子力教育を考える会 では、このDVDの続編：下巻を制作中です。この上巻は、放射線について、理科系の教科で扱う内容が中心でした。下巻では、福島第一原発事故によって、福島・日本はどのように変わっていったのか、チェルノブイリ事故の影響を受けたベラルーシ共和国にも取材して、社会的な側面に注目して、学習用の教材として制作しています。

放射線のホントのこと 上巻 DVD 約22分（下巻は現在制作中。2017年秋頃完成予定）

ご注文・お問い合わせ・質問・ご意見は [negtom@gmail.com](mailto:negtom@gmail.com) まで。

制作：原子力教育を考える会

頒価：カンバ代として¥1000. (送料別)